



井原市立井原中学校通信
第2号
令和2年10月12日
文責：川上 吉弘

【コロナ対応—お願い—】

新型コロナウイルス感染拡大防止については、学校としてできる限りの対応を実施しているところであります。教室では全員のマスク着用を確認して授業を開始することを原則としています。しかし、学校生活においては、たまにマスクを付けないまま行動する生徒も見受けられるのが現状です。

新型コロナウイルスはいつ誰が感染するかわかりません。いくら気を付けていても感染することがあります。この新しいウイルスは「病気そのものの症状」、「わからないことへの不安」、「感染者への偏見・差別」の3つのリスクをもっています。感染者が発生したら、どのようなことが起こるか想像してみてください。私たちはこれらのことを認識しながら、新しい正しい知識を得て、優しさと思いやりをもった適切な行動をとらなければなりません。

マスク自体の効果は諸説ありますが、現在の日本では、自ら気を付け、周囲に対しての配慮を示す行動として大切な意味をもっています。

保護者の方にお願ひします。

- ・予備を含め、マスクを2枚持ってこさせてください。
- ・マスク着用の必要性をご家庭でもご指導ください。
- ・学校では、マスクを持っていない生徒には新しい不織布マスクを渡します。後日、清潔な新しいマスクを学校まで持ってこさせてください。



【生徒会役員選挙】

8日（木）放送室からのテレビ放送で立ち会い演説会が開催されました。立候補者とその推せん者の学校をよくしたいというまっすぐな思いが伝わってきました。どのクラスも真剣に演説を聴き、きちんと投票が行われました。選挙管理委員の生徒がもれなく確実に説明をしている姿が印象的でした。みんなの力でますます学校がよくなっていくことを確信しました。

【常に工夫して、よりよく】

9月30日、3年生は修学旅行で体験できなかった班別学習の集大成として尾道研修を行いました。コロナ禍の中で、各クラスの生徒の代表が力を合わせ、今までになかった行事を作り上げ、全員で最後までやり切りました。自主的・自律的な活動を見て生徒の成長を実感し、とてもうれしく思いました。2年生は、駅前通りをライトアップする「ミナクルネ」に参加し、井原市を明るく元気にする活動しようとして取り組んでいます。井原中学校だけでなく、校区の小学校や幼稚園に声をかけ、いっしょに進めていこうとしています。年末・年始の明るい輝きにご期待ください。1年生は地域について知る、見る、食べる、遊ぶの「る・る・る・ぶ」を合い言葉に、ふるさと井原について学ぶ活動を進めています。全体での体験学習発表会はできませんが、それぞれに活動の成果をお伝えする工夫をしていきます。